

# 塾的精神

九州国際大学  
付属高等学校  
進路指導部だより  
令和2年度  
第5号  
令和2年8月1日

「塾的精神」は学園の  
建学の精神です。

## ○ はじめに

数学は必ず発見の前に一度行き詰まる。  
行き詰まるから発見するのです。

1学期の期末考査、いかがでしたか。準備を上手く進めることができましたか。返却された答案は診断書と同じです。答案には、考査中の奮闘の跡と乗り越えるべき課題が現れています。「できないこと」はそのまま自分の「伸びしろ」です。鍛え直すことで、ステップアップしていきましょう。

上の言葉は、数学者 岡 潔 (おか きよし)が、『人間の建設』で述べたものです。岡潔は、1901年 大阪に生まれ、和歌山で育ち、京都大学を卒業。「多変数解析関数論」で天才数学者が1問解くのに100年かかると言われた世界の3大難問(ケーザンの問題、近似の問題、レビイの問題)をたった1人で解決した人です。湯川秀樹などと並ぶ日本のサミットです。行き詰まるから発見する。完璧に準備したつもりでも、勝負後には課題が残るもの。そんな時、先生の言葉は心に響きます。

人は極端に何かをやれば、必ず好きになる性質を持つ。  
好きにならぬのが、むしろ不思議です。

人は何かに夢中になるとそれが好きになる。こんな経験をしたことはありませんか。受験に向けて一心不乱に勉学に励む生徒、運動部で自己ベストへの思いを胸に練習に取り組む生徒、文化部で芸術性をひたすら追い求めている生徒などはまさにそんな状況でしょう。受験指導も後半になると「問題を解くのが楽しくなった」という生徒の声を耳にするようになります。「一生懸命に取り組んでいる」状態から「考える楽しさ」が生まれ、それが物事を好きなものにさせるのだと思います。「勉強が辛い」「練習がきつい」という発言が聞かれるようではまだまだです。後ろ向きな言葉が不思議と生徒から消えていく。九国全体がそんな学びの場になればと思います。

全国には「〇〇の道」と呼ばれる名所があります。京都市の「哲学の道」や福津市の「光の道」は有名です。和歌山県橋本市の「情緒の道」。山道に、岡先生を顕彰する標柱があります。

人間の中心にあるものは、科学性でも論理性でも理性でもなく、それは情緒である。

『春宵十話』の冒頭です。岡先生が春の宵に今後の日本のあり方を憂いて述べた、十のエッセイです。人の心には情緒がある。日本の文化は、人の情緒を大切にすることで組み立てられ、それがどれだけ素晴らしいことか。コロナ禍で、世の中は一気にオンライン化が進みました。対面が減りました。しかし、急激な変化は、大切なものを切り捨てます。一人ひとりを大切に『塾的精神』を柱に据える九国くらいは、変化の弊害に気づき、生徒の創造性を阻害しない学校でありたいと願います。

## ○ 短い夏の過ごし方

コロナ禍で行事の中止が相次ぎ、長い夏休みが10日間程にまで短縮されました。本校でもいつもならじっとり腰を据えて、40日間を自学や課外などに取り組んでいましたが、今年はそれができません。そこでの対応策ですが、生徒の皆さんは、担任の先生のアドバイスに耳を傾けましょう。先生方は短い夏の活用法を、クラスの状況に応じて考えてくれています。それに従うことが一番大切です。その上で、以下に述べる**3つのコツ**を意識して、学習の質を高めてください。勿論、休みの10日間でやるべきことを中心は、1学期までの総復習です。

### ①メリハリのある生活をする。

時間と範囲を区切ることが大切です。「〇〇分間で●●をやる」「△△と□□をやったら10分休む」「息が詰まらないようお風呂や睡眠前はいろいろ考えない」など工夫しましょう。

### ②優先順位をつける。

日々の学習で優先順位をつける習慣を身につけましょう。明日やることを今日考えて、机にセットして眠る。そうすると朝から気持ちよくスタートできます。起床後に、さあ何をしようかなどと考えているから、人はやりたくない自分に負けしてしまうのです。手帳やClassiを用いた「やったこと」「やれなかったこと」の見える化もかなり効果があります。ただし、数日に一回は軌道修正の時間を設けてください。

### ③授業を大切にす。

1学期の授業が8月まで続きます。2学期のスタートも随分早くなります。皆さんは、学校の授業を最大限に活用してください。そのためには「予習—授業—復習」サイクルが重要です。どこを聴くかを意識した予習、授業では疑問点とプラスアルファの習得に集中し、復習では整理と定着に励みましょう。

## ○ 受験の作戦を立てる

3年生はいよいよ令和3年度入試が始まります。

- 総合型選抜(AO) → → → → →  一般選抜
- → → → →  学校推薦型選抜 →  一般選抜
- 総合型選抜(AO) →  学校推薦型選抜 →  一般選抜
- → → → → → → → →  一般選抜

どの形式を選択し、第一志望に挑みますか。今が考え時です。生徒は自分で必勝プランを作り、なぜこうしたいのか理由付けを行って、保護者に説明します。そこで、家庭の方針を固めてください。それから、担任の先生との懇談に臨みましょう。

## ○ 8月に専念すべきこと

8月までは「基礎固め」に専念する。理由を大学入学共通テストを例に述べます。2世代前の共通一次試験、1世代前のセンター試験の結果では、導入初年度は受験生のレベルが把握できず、難易度が高い問題を出题しにくい傾向がありました。混乱の今年も、他の試験も同様の傾向になると見られています。入試問題が難しくなるのは、2年生が受験する令和4年度入試からというのが大方の見方です。そこで「基礎固め」の重要性を特に3年生に再認識してほしいのです。本番で難問が解けないことは大きな傷になりませんが、周囲が解けている易問が解けないことは即、不合格に結びつきます。国公立大学志願者の皆さんは、共通テスト対策重視で進めてほしいです。